

いわがまち歴史探訪、足もとの文化遺産への誘いー
ミュージアム都留からのお知らせ

『久住三郎展』一祈りのころを描くー

会 期 6月5日(金)～8月22日(土)

富士北麓を創作の場とした芸術家の一人として、独自の細やかな感性により叙情的、神秘的な表現世界を作り上げた画家・久住三郎の作品を展示します。

久住三郎は、昭和21年(1946年)に東京で生まれました。幼いころから絵画、俳句、茶道などの日本文化やピアノなどを習い、豊かな感性を育てていきました。

20歳の時、不慮の医療事故に遭い、生死をさまよひ九死に一生を得ます。その時、残された人生は自分の好きなことをして生きようと決意し、絵の道へと進みました。

東京芸術大学絵画科に入学し、日本画界の巨匠・平山郁夫に師事、大学院から教官室へと進み、順調に画家への道を歩んでいきました。日本美術院展には27才で初入選の後、連続して入選し、また個展・グループ展など活動を広げていきました。世界に通じる画家になりたいとの思いから、ニューヨークで研鑽を積むべく、平成2年(1990年)に家族とともに渡米します。個展、グループ展、銅版画作製と、意欲的に制作活動を続けましたが、持病が進行し、平成9年(1997年)やむなく帰国しました。

その後は、富士北麓・河口湖畔にあるアトリエで、アメリカでの経験を活かしての日本画制作に意欲を燃やしていましたが、病の進行はあまりにも速く、平成12年(2000年)7月、志半ばにしてこの世を去りました。

病への不安感が常に内存していたこと、また若いころから自分も含めた人間社会に醜さや空しさを感じていたことなどにより、追求してきたものの根底には、淨いもの、ゆるがないもの、空しくないもの、真実なもの、そして心に平安を覚えるものを見出そうとする姿勢がありました。病を背負ったが故に追求め、絵筆によって表してきた独自の世界は「祈り」であり、見るものの心に安らぎと深く静かな感動を与えてくれます。

時 間	午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
観覧料	一般 300円(210円) 高・大学生 200円(140円) 小・中学生 100円(70円) ※()内は20名以上の団体料金です。
休館日	毎週月曜日、第3火曜日、祝日の翌日
問合せ先	ミュージアム都留 ☎(45)8008



「白浄」(1989年)



「桜富士」(2000年)

情報未来館だより

初心者パソコン

対象者 市内在住18歳以上でパソコンに触れたことのない方

日 程 7月5日(日)、12日(日)

時 間 午前9時30分～正午、午後1時～4時30分

定 員 15名

内 容 マウスとキーボードの使い方、ファイルの扱い、簡単な文書作成など

費 用 消耗品代(500円×2日)

デジカメに興味のある方へ

日 程 6月28日(日)、7月26日(日)、8月30日(日)

時 間 午後1時30分～4時

※デジカメに関する質問(撮影の方法、取り扱い方)も受け付けます。質問については事前に情報未来館へご連絡ください。

開館時間 午前9時30分～午後5時15分

休館日 6月1日(月)、8日(月)、15日(月)、22日(月)、26日(金)、29日(月)

申込・問合せ先 情報未来館 ☎(43)1452



増田誠美術館

増田誠画伯を偲ぶ展 第2期
～増田画伯愛蔵作品展～

増田画伯のアトリエに飾られていた作品を中心に展示します。画伯が手元に残した作品です。ぜひ一度、美術館に足を運んではいかかでしょうか。

会 期 6月13日(土)～9月27日(日)

開館時間 午前9時～午後4時30分

会 場 増田誠美術館(ふるさと会館2階)

休館日 月曜日、第3火曜日、祝日の翌日



「パリ祭」

《作品の紹介》

パリ祭は、フランス革命を記念した国民の休日で、毎年7月14日にパレードが行われます。

この作品は、万国旗の下行われたパレードの行列と観客を描いたものです。